

会議録

会議の名称	西東京市立学校給食運営審議会（第4回）
開催日時	平成19年4月26日（木曜日）午後3時から午後4時
開催場所	保谷庁舎3階会議室
出席者	（委員）佐藤会長・坂上委員・長沢委員・真田委員・繁野委員・井浦委員・本橋委員・大森委員・田中委員・柳父委員・奥隅委員 （欠席）稲津副会長・加藤委員・忠平委員・終夜委員・武藤委員 （事務局）富田学務課長・杉山係長・猿谷主任
議題	1 西東京市立学校給食運営審議会委員の交代について 2 副会長の選出について 3 西東京市立中学校における学校給食について 4 その他
会議資料の名称	1 西東京市立学校給食運営審議会委員名簿（平成19年4月1日現在） 2 西東京市立学校給食運営審議会 部会報告
記録方法	全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>発言者名： 発言内容</p> <p>議題1 西東京市立学校給食運営審議会委員の交代について 富田課長 人事異動に伴い、校長代表は根本委員に代わり稲津委員（青嵐中）に、給食主任の代表は、林委員から忠平委員（栄小）を平成19年4月1日付で委嘱をした。また、児童・生徒の保護者代表である中島委員が市外へ転居したため、平成19年3月31日付で柳父委員に委嘱をした。なお平成18年5月25日以降、全体会が開催されていないため紹介できなかったが、平成18年9月1日付で栄養士代表が大村委員から長沢委員に交代になったことを報告する。</p> <p>議題2 副会長の選出について 佐藤会長 根本委員が異動により解職となり、副会長が不在になったため立候補する方はおられるか。</p> <p>佐藤会長 立候補はないようなので、事務局のほうで推薦はあるか。</p> <p>富田課長 校長代表が副会長に当たられるのが通例である。たまたま本日欠席であるが稲津委員が副会長職には適任かと思う。本人から承諾はいただけると思われるがいかがか。</p> <p>佐藤会長 事務局案が適当と思われる。稲津委員にお願いしたいがいかがか。 全員了承</p>	

佐藤会長

了承されたので副会長は稲津委員に決定する。稲津委員には事務局から報告をお願いする。

議題2 西東京市立中学校における学校給食について

佐藤会長

部会長から部会報告をお願いする。

田中部会長

部会活動として、東久留米市（弁当併用スクールランチ方式）、調布市（親子方式）、小平市（センター方式）の3市を視察し、協議を重ねてきた結果、部会として一定の方向を得た。

まず、中学校給食の実施を提案する。その理由として、成長期である時期に、適切な栄養計算がされ、バランスの取れた給食は心身ともの成長に重要な役割を果たすものと考えられる。

次に実施方法についてだが、自校方式であればアレルギー食等については、最も適切な対応ができるが、今般の財政状況や条件整備において実現性ではないことを踏まえ検討した。その上で、（1）給食と家庭弁当との選択性、（2）温かいものは温かいまま、冷たいものは冷たく、（3）給食時間の確保、（4）給食費未納への対応という4つの項目が浮かび上がった。（1）については、家庭弁当に対するこだわりや思いを尊重すること。最近中学校給食を実施した市においてのアレルギー食は、自校方式のようなも細やかな対応ができないことを考え、選択制になった。（3）について西東京市の現状は、体育などで教室の移動をしなければならないときの状況では、昼食時間が5分程度になってしまうこともあると聞く。給食時間を長くすると部活時間に影響が出ると言われるが、他市では給食を実施している。他市の状況を参考に給食時間を検討する必要がある。（4）については、給食費未納問題が大きく報道されている。新たに中学校給食を実施する場合、前払い制等にして未納を発生させない方法が必要である。

以上、4つの項目を基にして、3市の方式の中で西東京市ではどれが一番適切かを検討した結果、親子方式が最もふさわしいとの結論になったことから部会では親子方式を提案する。

坂上委員

親子方式は現実的と思えるが、具体的な流れが知りたい。

田中部会長

調布市では小学校で中学校分を調理している。まず中学校を調理した後に小学校分を作る。小学校ごとに調理室の大きさが違うので、調理だけを引き受ける学校、食器の洗浄・片付けをする学校など役割の分担をすることによって可能にしている。中学校への配送は、食缶や食器等が丸ごと入るコンテナに鍵をかけて運ぶ。中学校に着いたらコンテナをエレベーターで教室近くの廊下まで運ぶ。

坂上委員

中学校の施設増築は必要ないのか。

田中部会長

見てきた中学校はエレベーターの設置のみ、エレベーターの利用は人が乗れることから他にも転用できている。

坂上委員

エレベーターのところまで取りに行き、配膳後自分たちで盛り付けをするのか。

田中部会長

教室の近くまで給食の入ったコンテナが運ばれるので、給食当番が取りに行き配膳する。食べ終わったら、そのコンテナに収納すれば後は業者が回収する。

坂上委員

確かに配膳する時間の問題があるように思う。

真田委員

配膳係はどのような状態なのか。

田中部会長

配膳係はペアで、エレベーターに入れる人、エレベーターから出して所定の位置に置く人という役割になっている。

佐藤会長

そのことも気になるが、時間差といっても調理時間が足りるのか。

田中部会長

可能にするため、スチームコンベクションオープンや炊飯器などを導入し、増築はしていないと聞いている。調理員については、嘱託員や臨時職員を配置し対応している。

坂上委員

西東京市の現状はどうか。

富田課長

市内各中学校によって違う。これからひとつひとつ現状分析をしていくつもりですが、親子方式の時間差は有効であると考えている。

坂上委員

食の教育というか、区内の中学校の給食の問題として残菜の問題が挙げられていたが調布での残菜の問題はどうか。

田中部会長

盛り付けで量の調整はしていた。

真田委員

調理食数はどのくらいか。

井浦委員

650から1000食くらいだったと記憶している。

坂上委員

PTAでは家庭弁当との選択制ではなく、全員が同じものを食べる完全給食の要望がある。

奥隅委員

食物アレルギーの子どもが増え、対象となる食品も多様である。完全給食になると対

応できないこともあるので選択制のほうがいい。

佐藤会長

部会委員以外は、部会報告を今日初めて聞いたので十分に把握していない。次回までそれぞれ検討し、次回の会議以降で実施の可否を含んだ検討していきたいかがか。

全員了承

富田課長

今回は5月下旬に開催する予定である。